

登録証を持つ望月会長（中央）と産業課
の職員たち



身延町 あけぼの大豆

【山梨】身延町の特産「あけぼの大豆」が県内農産物で初めて、GI（地理的表示）保護制度に登録された。

あけぼの大豆は昼夜の寒暖差が大きく、霧が多く発生する標高3000～7000㍔の曙地区で採取した種子を使い、同町のみで栽培された大豆だ。同町は2015年にあけぼの大豆振興協議会を設立、優良種子の確保や安定生産、品質向上や6次

曙地区の種子で町内限定生産

山梨県初のGI登録

関東

全国農業新聞

NATIONAL
AGRICULTURAL
NEWS

2022年(令和4年)

8月5日

金曜日
月4回金曜日発行

産業化をめざしてきた。16年には荒廃農地を整備し、17年には集荷から選別、出荷、加工品の製造を行う拠点施設を整備した。

18年11月には、ブランド力向上や類似品の流通を食い止める目的でGI登録を申請し、今年3月に登録された。同協議会の望月悟良会長は「GI登録は通過点。今後は販路の拡大と新たな担い手の確保をめざしていく」と語る。

6月までに種まきが終わり、今月中旬には開花が始まる。詳細は、ホームページ（town-minobu-akebonodaisu.com）がわかる。